

平成13年1月1日から平成16年12月31日に

当院で未破裂脳動脈瘤の手術を受けた方へ

## — 研究実施のお知らせ —

研究の題名： 未破裂脳動脈瘤の直達手術後長期治療成績に関する検討

研究期間： 病院長の許可日～令和2年12月31日

研究責任者： 脳神経外科 部長 村上 謙介

青森県立中央病院脳神経外科では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の目的と意義について】

未破裂脳動脈瘤は年約1%の頻度で破裂し、くも膜下出血を生じると報告されています。予防には外科治療が必要であり、直達手術（脳動脈瘤クリッピング術）が広く行われています。我が国の脳卒中ガイドラインによれば、予防手術はくも膜下出血の発症リスクと手術合併症リスクのバランスの観点から、脳動脈瘤が一定サイズ以上のもので、10年から15年の余命が期待される患者さんがその対象と考えられています。当科で手術から10年以上経過した患者さんを対象として、手術後の経過観察の実態と、手術によってくも膜下出血発症が長期間抑制できているか明らかにし、今後の未破裂脳動脈瘤手術並びに手術後の経過観察指針に資するデータを提供することを目的としています。

### 【研究の方法について】

平成13年1月1日から平成16年12月31日の間に当施設で直達手術を行なった未破裂脳動脈瘤患者さんを対象とします。なお、以前くも膜下出血発症したことがあり、その時に付随して見つかった未破裂脳動脈瘤の患者さんは除外します。診療録を参照し、手術後の外来通院期間、期間中のくも膜下出血発症の有無、血管造影所見変化の有無、最終転帰を調査します。

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

### 【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までご連絡ください。

### 〈お問い合わせ等の連絡先〉

青森県立中央病院 脳神経外科  
部長 村上 謙介  
TEL : 017-726-8111